
課外教養プログラム

プロジェクト活動報告

課外教養プログラムプロジェクト(KYOPRO)

学生スタッフの活動記録（2020.3.31 現在）

1. メンバー構成：計 72 名 ※2019 年度卒業生を含む

(1) キャンパス別内訳

- ①市ヶ谷キャンパス 36名
- ②多摩キャンパス 22名
- ③小金井キャンパス 14名



(2) 学年別内訳

- ①1年生 15名
- ②2年生 15名
- ③3年生 23名
- ④4年生 18名

2. ミーティング：

(1) 市ヶ谷キャンパス：春学期 週2回（火、木）／秋学期 週2回（火、金）実施

(2) 多摩キャンパス：春学期 週2回（火、金）／秋学期 週2回（火、金）実施

(3) 小金井キャンパス：春学期 週2回（火、水）／秋学期 週2回（火、金）実施

*その他、全体ミーティング（3キャンパス合同）を月1回、サブミーティング（各キャンパス）を隨時実施した。

3. 実施目的：

- プロジェクト活動を通じた「ピアサポート」活動の展開
- プロジェクト活動を通じた「コミュニティ」の形成、「社会人基礎力」の養成

4. 外部団体との交流：

- ・ウェルカム・フェスタ
- ・生協学生委員会（GI）合同企画「健康みなおし週間」
- ・学生相談室合同企画「KYOPRO×市ヶ谷学生相談室心のプロに学ぶストレスとの上手い向き合い方～‘Stless’になる新常識」

5. 担当職員による振り返り：

[市ヶ谷キャンパス] 担当：團之原啓一

「スタッフ」・「企画」・「体制」という3点の面から2019年度の活動について振り返りたいと思う。まず、スタッフについて。

2019年度の市ヶ谷 KYOPRO スタッフは既存メンバーに加えて新たに11名のスタッフを迎えた。計27名で活動を行った。新スタッフは1年生から4年生まで幅広い学年に渡っており、多種多様な活動に取り組んできたバックグラウンドを持つスタッフが多く加入した。特に、1年生は加入当初から積極的なMTG 参加や発言が多く、意欲的に取り組んでいたという印象を持っている。今後も積極的に活動に取り組んで頂き、課外教養プログラムスタッフの中心となっていってほしい。2年生はMTGでの新スタッフや企画に参加した学生へのフォローを積極的に行っており、ピアネットの精神を体現していたと感じている。また、MTGや企画立案等で中心的な

業務を主体的にこなし、スタッフの中心となっていた。来年度は今まで出来ていた事にプラスで「新スタッフの育成」という面も意識して進めていけるとなお良いと考えている。3年生については、市ヶ谷 KYOPRO スタッフの中心だけでなく3キャンパス全体の核となって積極的に活動をしていましたという印象を持っている。市ヶ谷新スタッフの動きから3キャンパス全体の動きまでを俯瞰して見て、どのように動いて行くべきなのかを明確にし、市ヶ谷 KYOPRO スタッフを導いていたと感じている。就活等で忙しくなっていく中でも意欲的に関わっていた姿は1~2年生のロールモデルになっていたのではないだろうか。

企画については、例年より少し多い10プログラムを実施した。この企画数を達成出来た理由としては、2~3年生が積極的に企画立案を行った事と3年生のフォローアップが行き届いていたという事が考えられる。今後も社会情勢や学生の様子に高くアンテナを張り、積極的に企画立案を行っていってほしい。また、企画のテーマとしては「スキルアップ」をテーマにした企画だけでなく「歴史」や「文化」に着目した企画をバランス良く実施出来たと考えている。昨年の春学期を例に出すと、「すぐ行動を起こす為の意識改革」を学ぶ「今日からできる！すぐやる人になるための意識と行動の改善トレーニング」というスキルアップ系の企画を実施した2週間後には「なぜ太平洋戦争が起きたのか？」という事に着目した「ディベートで学ぶ日米開戦」という歴史・文化系の企画を実施した。このように、幅広い学生のニーズに対応した企画の立案・実施が出来た。しかし、「企画の質」という面では十分ではない場面が何度かあった。多くの学生スタッフが様々な企画に関わるあまり、仕事の割り振りが適切では無かった事や多くのスタッフが仕事に取り組んでいる為、当事者意識が薄れ、上手く連携する事が出来なかった事が理由として考えられる。今後はこのような事がないように新たに企画のルールや体制を市ヶ谷リーダーが中心となって整えた。これを運用していく事で、企画の質向上を期待したい。

次に、体制について。

前述の通り、企画やMTGの質向上を目的として企画・MTGのルール・体制を整えた。2019年の秋ごろから取り組み、新入生を迎える直前の3月に完了させるスケジュールで動いた。市ヶ谷リーダーが中心となって様々な学生スタッフを巻き込みながら動いた事でスケジュール通りに体制を整える事が出来たのではないだろうか。テストや課外教養プログラム以外の活動で忙しかったにも関わらず、中心となって動いてくれた市ヶ谷リーダーには感謝申し上げたい。今後はこの体制を基に活動を行っていき、企画の質、参加者の満足度向上や生産性の高いMTGを目指していきたい。

最後に、課外教養プログラムの担当初年度として盛り沢山な経験をさせて頂いた。不慣れな事が多く、戸惑う事もあったが他キャンパス職員を始め、リーダーズには本当に助けられたと感じている。今後はリーダーズを中心に活動を行い、さらなる成長と法政大学のピアネット文化のさらなる発展を期待したい。

[多摩キャンパス] 担当：新井 康平

2019年度の多摩 KYOPRO は新たに2名の新メンバーを加えた総勢22名での活動となり、初めて4学部の学生全てが揃った体制となった。昨年から続いている新メンバーの獲得難が続き、本年度も少数体制の厳しい始動となつたが、それでも活発な活動を続けることができたのは、これまで活動の中心を担っていた4年生の活躍によるものが大きかったといえる。就職活動や卒業研究などで大学に登校する機会が少なくなるなか、それでも都合をつけては卒業まで積極的に参加してくれた4年生によるサポートは、組織全体を活性化させ、ひいてはそれによる高品質な課外教養プログラムの提供という形で学生スタッフ以外の学生にも還元しうるものとなつた。過去の卒業生がそうしてくれたように、憧れの先輩たちから教わった体験を後輩たちへ、次の世代へと繋いでより良い形へと昇華させていくとする姿勢はまさに法政大学が目指すピアサポートの理想の形ともいえるものだった。

プログラム面では、学生スタッフ一人ひとりがその想いを大学が目指すコンセプトに沿った形で実現できるような企画立案を行うことができたように感じている。それによって、例年以上にテーマの内容に厚みが増し、KYOPRO が提供する「正課授業だけでは満たしきれない学問的関心」「学生間交流」の幅がさらに広がつたといえるだろう。昨年度から続けていた学生へのニーズ調査、アンケート分析を経て実施できた「歌詞から学ぶ言葉のチカラ～広げよう！日本語の世界～」では、音楽という学生の日常的な興味関心を内容に反映しただけでなく、日本語表現や社会的・文化的背景をも学べる教養的意義の深いプログラムとなつた。「今さら聞けない天皇の話～象徴ってなあに？～」では、元号が平成から令和になった本年に改めて自身の住む国日本について見つめな

おすというまさに「正課授業だけでは学べない」という課外教養プログラム本来の目的を果たしたプログラムとなった。また、大学生活における授業や各種活動への姿勢や意識を学ぶ「大学って何をすればいいの？～大学のトリセツ～」はそれぞれの学生生活をより良くする方法を共有し合うという「ピアサポート」を体現するプログラムになった。

このように2019年度の課外教養プログラムは、知識を切り口に自分なりの知見を得て新しく何かを汲み取る経験をつけられる、まさに「教養」という本来のコンセプトに沿った深みのあるプログラム展開となった。そしてこのような体験を元に、自分の考えを広い視野で論理立てて他者と共有し合うことで、それがより豊かな学生生活を送るきっかけを作るという仕組みもまた、課外教養プログラムだからこそできる学生支援の形といえるだろう。今後も法政大学の学生にとってより良い課外教養プログラムの提供を目指することで、学生スタッフ一人ひとりの人間的成長と法政大学のさらなる活性化を目指してくれることを期待したい。

[小金井キャンパス] 担当：菅野 渉

2019年度のKYOPROは、新たに6名のスタッフを加え14名で活動を行い、プログラムは秋学期に3プログラムを実施した。

新1年生が5名（うち1名は秋から加入）加入したため、5月までは先輩スタッフも中心となり「企画の考え方」や「実施したい企画」のアイデア出しを中心に、6月からは「企画実施向けたグループ内の検討」を行った。以降はグループ内の話し合いが少々難航したため、春学期はプログラムの実施ができなかった。原因として考えられるのは、1つの企画グループに関わるスタッフの多く各々の役割が不明確になったことが挙げられる。例えば人数が2～3名であればそれに役割が与えられ当事者意識を持つことができるのであるが、4～5名になってしまふと発案者は企画の概要を把握しているが、その他のスタッフとの認識の差に偏りが出てしまい、話し合いが進めにくいということがわかった。学生とも確認をしたが、2020年度の企画に携わるスタッフは原則少人数で運営できるような仕組みづくりをしていきたい。

秋以降はプログラムも実施し、スタッフも着実に経験を積んでいった。

特に重要性を意識したのは、当日の「事前準備」である。講師と実施前からやり取りを重ねてはいたが、当日の会場設営やAV機器の準備といった部分で慌ててしまう部分が見られた。プログラム実施直後に毎回KPTを実施しているが、その中でも「今回不明瞭な点はマニュアル化できる部分はしていこう」という意見等が出していた。2020年度に向けて改善が期待される。

2019年度の収穫としては小金井KYOPROとしては初めて「大学祭への屋台出店」を行ったことである。他のサークルのように販売利益を考えるのではなく、まず「KYOPROが大学祭に屋台を出店する目的」を考えてもらい、「KYOPROを1人でも多くの学生に知ってもらう」という方向性のもと動き出すことができた。初めての経験が多かったが、出店実績のある他キャンパスに原価計算方法をヒアリングしたり、実際の出店の様子を見学したりと積極的に行動していた。企画実行委員会への資料提出等苦労することも多かったが、ほぼ全員のスタッフが活躍した事で今後の活動のモチベーションにつながった。

また、学生から学生へのサポートも顕著にみられた。リーダー格の3年生達が初めての1年生を積極的にサポートし、最終学年である4年生も今までの自身の経験を活かし、可能な範囲内で出席し、日々のミーティングなどで「気づき」を与える発言を行っていた。まさに「内部のピアサポート」を体現していたと言える。こうした上級学年の活躍を見て後輩たちも今後入学してくる新入生をサポートして行ってほしい。

新型コロナウィルスの関係で、課外活動の実施が難しい昨今、KYOPROの活動意義について今一度学生・職員が一体となって考える時期に来ている。3キャンパスの職員だけではなく、学生同士でもキャンパス間を超えた連携を高めて、2020年度も質の高いプログラムを1人でも多くの学生に提供できるように話し合いを重ねていきたい。

2019年度プログラム実施一覧

	実施日	プログラム	申込者数	参加者数	留学生数
春学期プログラム	4.19(金)	●出会いを活かせ！コミュニケーションスキルUP講座	12	11	0
	4.20(土)	●3キャンパスバスター	11	11	1
	5.9(木)～16(木)	●校歌を覚えよう	-	135	-
	5.18(土)	●法政スポーツを応援しよう！(VS早稲田大学)－東京六大学野球応援－	157	150	74
	5.22(水)	●お酒とクスリの大事な話(小金井)	55	71	0
	5.28(火)	●今日からはじめる自己紹介～「はじめまして！」はみんなどうしている？～	-	15	-
	5.29(水)	●お酒とクスリの大事な話(多摩)	-	68	-
	5.30(木)	●お酒とクスリの大事な話(市ヶ谷)	-	154	-
	5.31(金)	●今日からできる！すぐやる人になるための意識と行動の改善トレーニング(1回目)	17	14	1
	6.13(木)～6.14	●多目的室利用講習会	43	43	0
	6.14(金)	●今日からできる！すぐやる人になるための意識と行動の改善トレーニング(2回目)	18	8	0
	6.19(水)、26(水)	●能楽鑑賞教室－日本文化を学ぼうシリーズ－	14	14	8
	6.21(金)	●オレンジホール利用講習会	33	33	0
	6.22(土)	●歌舞伎鑑賞教室－日本文化を学ぼうシリーズ－	26	26	10
	6.25(火)	●消費者トラブルから身を守る方法教えます！(市ヶ谷)	-	120	-
	6.26(水)	●ストレッチング講習会	-	49	0
	6.26(水)	●ディベートで学ぶ太平洋戦争の背景	12	11	0
	7.2(火)	●あなたの脳をパワーアップ！脳とノートの超活用法	0	6	0
	7.5(金)	●茶道体験－日本文化を学ぼうシリーズ－	16	14	9
	7.10(水)	●コーヒーから見つめ直す世界史	10	13	0
秋学期プログラム	10.7(月)	●大学って何をすればいいの？～大学のトリセツ～	3	7	2
	10.16(水)	●生け花体験教室－日本文化を学ぼうシリーズ－	14	12	5
	10.21(月)	●歌詞から学ぶ言葉のチカラ～広げよう！日本語の世界～	0	10	0
	10.23(水)	●危険ドラッグの恐ろしさ～薬物乱用防止セミナー～(市ヶ谷)	-	132	-
	10.24(木)	●スマホのデータ、盗まれていませんか？法大生のためのネットリテラシー診断	11	11	0
	10.25(金)	●危険ドラッグの恐ろしさ～薬物乱用防止セミナー～(小金井)	-	69	0
	10.29(火)	●危険ドラッグの恐ろしさ～薬物乱用防止セミナー～(多摩)	-	59	0
	11.12(火)	●今さら聞けない天皇の話～象徴ってなあに？～	0	11	0
	11.19(火)	●法政たばこセミナー～受動喫煙の恐ろしさ(小金井)	-	71	0
	11.19(火)	●神々の国のガイドブック～古の日本を探検しよう～	0	12	0
	11.21(木)	●消費者トラブルから身を守る方法教えます！／法政たばこセミナー～受動喫煙の恐ろしさ(多摩)	-	68	0
	11.22(金)	●将来のニーズをとらえる力～未来を見据える術はここにある！	11	11	0
	11.27(水)	●博報堂スピーチライター直伝！“伝わらない”をなくす話し方の極意	13	12	0

2019年度・KYOPRO活動報告

	11.28（木）	●法政たばこセミナー～受動喫煙の恐ろしさ（市ヶ谷）	-	132	—
	12.1（日）	●パスポートのいらないブルガリア	13	12	0
	12.2（月）	●逆算で賢くお金を使う！ライフプランを立てよう	4	12	0
	12.2（月）～6（金）	●健康見直し週間	-	1105	-
	12.3（火）	●箱根駅伝・全日本大学サッカー選手権壮行会	-	120	20
	12.6（金）	●三曲体験教室－日本文化を学ぼうシリーズ－	17	13	10
	12.10（火）	●”読まない”読書 本文を読むだけじゃない読書のヒミツ	13	14	0
	12.10（火）	●言語は使わない！身近な生活から見つける伝え方の文化の違い	3	8	0
	12.16（月）	●心のプロに学ぶストレスとの上手い付き合い方～stress になる新常識～	3	12	0

44 プログラムに、約 3000 名参加

* 上記は学生スタッフが企画・実施したプログラムだけでなく、既存プログラムなど学生センターが実施したプログラムを含む。

* 3月に実施予定であった「I 部演劇研究会による薬物乱用防止啓発劇」、「新入生交流プログラム」については、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止となった。

* 3 キャンパスで実施した啓発系プログラムの実施報告書はキャンパス毎に作成はせず、1 つの報告書に集約しています。